

**I 第46週の発生動向 (2008/11/10~2008/11/16)**

- RSウイルス感染症については、県全体で、増加傾向にあることから注意が必要です。
- A群溶血性レンサ球菌感染症については、青森市保健所管内において、増加傾向にあることから他の地域においても注意が必要です(先週7人→今週19人)。

**II 第46週五類感染症定点把握** 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数							
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		
(85) インフルエンザ															0												
(74) RSウイルス感染症	10	1.11	9	1.00	4	0.44	1	0.20	6	1.00	1	0.25	31	0.74	17				10	1.25							
(75) 咽頭結膜熱	2	0.22	1	0.11							1	0.25	4	0.10	-1				2	0.25							
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	2.11	16	1.78	1	0.11	6	1.20	2	0.33	4	1.00	48	1.14	13				19	2.38							
(77) 感染性胃腸炎	21	2.33	6	0.67	5	0.56	4	0.80	17	2.83	14	3.50	67	1.60	10			3	3.00	18	2.25						
(78) 水痘	8	0.89	13	1.44	4	0.44	12	2.40	5	0.83	2	0.50	44	1.05	-11			1	1.00	7	0.88						
(79) 手足口病	4	0.44	14	1.56	1	0.11	1	0.20	10	1.67	6	1.50	36	0.86	-2			2	2.00	2	0.25						
(80) 伝染性紅斑	2	0.22											2	0.05	1				2	0.25							
(81) 突発性発しん	4	0.44	2	0.22	4	0.44	1	0.20	4	0.67	4	1.00	19	0.45	5				4	0.50							
(82) 百日咳															0												
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																										
(83) ヘルパンギーナ															-2												
(73) 麻疹	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																										
(84) 流行性耳下腺炎	10	1.11	1	0.11	2	0.22	2	0.40	1	0.17	1	0.25	17	0.40	-2				10	1.25							
(86) 急性出血性結膜炎															0												
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50			3	1.50	2	2.00					6	0.55	-3				1	0.50							
(95) マイコプラズマ肺炎					3	3.00					4	4.00	7	1.17	-7												

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

**III 表II以外の感染症法対象疾患** (注:届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前2人 (20年計:422人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 弘前1人 (20年計:21人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患): 八戸1人、むつ1人 (20年計:15人)

**IV 病原体検出情報**

弘前地域の感染性胃腸炎患者(検体採取10/27(2名)、11/4(1名)、11/7(1名))から検出されたサポウイルス4株は、遺伝子解析の結果、サポウイルス遺伝子型I(GI)でした。また、同地域で11/6採取の感染性胃腸炎患者1名からもサポウイルスが検出され、現在解析中です。

# 感染症の窓

# インフルエンザ

**表 感染症発生動向調査における患者報告数**  
(2008年第45週 11/3-11/9)

	(人/定点)	(人)
	定点当たり報告数	
<b>全国</b>	<b>0.17</b>	<b>811</b>
宮城県	0.19	18
神奈川県	0.19	59
福井県	0.19	6
山梨県	3.23	129
岐阜県	0.17	15
大阪府	0.77	211
兵庫県	0.38	76
和歌山県	0.32	16
鳥取県	0.28	8
徳島県	0.68	26
福岡県	0.22	44
沖縄県	0.33	19

現在、青森県では、本疾患の報告はありませんが、例年は第46週前後(11月中旬頃)にインフルエンザ定点から患者が報告され始めています。全国的には、患者報告数が増加傾向にあります。東北地方では、宮城県で患者報告が見られています(表)。インフルエンザは、発熱、咽頭痛、咳などの症状が出現し、潜伏期間が短く、感染力が強いため、学校や職場、家庭内で急速に流行が拡大するのが特徴です。2008年8月25日~10月12日までに、神奈川県、栃木県でAH3型、東京、大阪ではB型ウイルスによる集団発生が報告されています。予防には、帰宅時の手洗い・うがいやマスクの着用があり、ワクチン接種は、11月から12月上旬の流行前に受けることが重要です。ワクチン接種については、最寄りの医療機関、医師に相談しましょう。